

WECare

ウェラカンパニー行動規範



O·P·I



Briogeo



SEBASTIAN
PROFESSIONAL

CLAIROL



Kadus
PROFESSIONAL

Londa
PROFESSIONAL

What WECare about



当社の顧客およびビジネスパートナー

1. 公正な競争
2. 個人データおよびプライバシー
3. 贈収賄および腐敗行為の防止
4. マネーロンダリングの防止
5. 贈答品および接待
6. 利益相反
7. 貿易管理および貿易制裁



当社のコミュニティ

1. 人権および現代の奴隷制
2. 環境保護
3. 慈善寄付
4. 政治献金および政治活動



当社の規範

1. 最高法務責任者からのメッセージ
2. 当社の価値観と規範
3. ESGに対する当社の取り組み
4. WECareを行う理由
5. 当社の規範と法
6. 当社の規範と会社方針
7. 全員を対象とするWECare
8. 従業員の責任
9. マネージャーとチームリーダーの責任
10. 声を上げる
11. 報復の禁止
12. 当社のホットライン
13. 適切な意思決定を行う
14. 支援はどこで得られるか

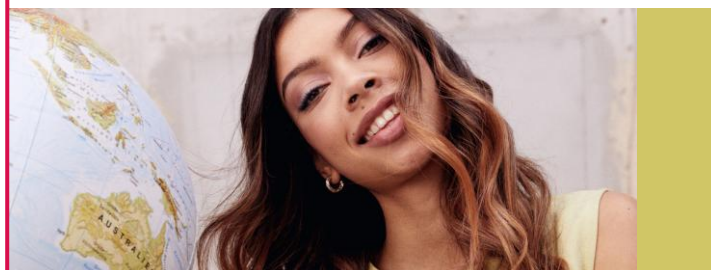
当社従業員

1. 安全衛生およびセキュリティ
2. 平等かつ公平な処遇
3. 従業員の代表者
4. 個人データおよびプライバシー



当社に関わる消費者および当社製品

1. 消費者の安全と健康
2. 個人データおよびプライバシー
3. 広告およびパッケージ
4. 責任あるイノベーション（動物実験を含む）



当社の株主

1. データおよび記録の正確性
2. サイバーセキュリティ
3. 会社資産
4. 外部とのコミュニケーション
5. インサイダー取引

当社の規範

1. 最高経営責任者からのメッセージ



同僚の皆様へ

当社の評判は、私たちが日々行う選択、互いへの接し方、そして世界中のパートナーや消費者にどのように接するかによって築かれています。それは私たちの最も貴重な資産の一つであり、私たち一人ひとりがそれを守る役割を担っています。

私は、結果と同じくらい、どのように勝つかも重要だと考えています。法律に従って誠実に行動することが、私たちの事業運営や競争の根幹です。私たちの行動規範「WECare」は、あらゆる市場、チーム、そして意思決定において、その信念を実現するための共通の枠組みです。

100カ国以上で事業を展開するグローバル企業として、私たちは複雑な課題、多様な市場環境や文化、そして急速に変化する期待に直面しています。状況は様々ですが、倫理的な行動への私たちのコミットメントは変わりません。この規範は、私たちが責任を果たす上で、実践的で日常的な指針となります。私たち一人ひとりは、本規範を理解し遵守すること、また不明な点がある場合は助言を求めることについて、個人的に責任を負います。すべての状況に対応できるわけではありませんが、私たち一人ひとりが適切な判断を下し、正しい行動を自ら責任を持って行うことができるようにしてくれます。

同じくらい重要なのは、何かがおかしいと感じたときに勇気を持って声を上げることです。ウエラカンパニーでは、好奇心と議論を重視し、従業員が報復を恐れることなくアイデアに異議を唱えたり懸念を表明したりできる環境を整えています。声を上げることは、社員、会社、そして評判を守ることに繋がります。それは私たち全員が共有する責任です。

強固な企業文化は、明確な価値観、目的、そして責任感に根ざしており、それらは私たちの日々の行動に表れなければならない。当社の行動規範に従うことで、私たちに寄せられる信頼を強化し、全員が誇りに思える組織を築き続けていきます。

正しい行動を心がけ、当社の行動規範を遵守してくださる皆様に、心より感謝申し上げます。

感謝を込めて、

Calvin McDonald
CEO, The Wella Company

当社の規範

2. 当社の価値観と規範

ウエラカンパニーの価値観は、当社がどのような会社で、何を支持しているかを明示し、どのような行動が求められているかの模範を示しています。全従業員は、価値観を共有し、これをすべての行動に組み込むものとします。

当社の規範は、当社の価値観を強化し、サポートするものです。また、従業員一人ひとりに期待される行動の最低基準を定めており、問題に直面したときに正しい行動を取るための指針となります。

ウエラカンパニーは、「Collaborative(協働性)」、「Creative(創造性)」、「Courageous(勇敢性)」、「Connected(つながり)」、「Committed(コミットメント)」を大事にしています。

価値観

協働性

当社は協働して素晴らしいものを築きます



創造性

当社は創造性と卓越性を育んで当社ブランドやビジネスに価値を生み出します



勇敢性

当社は機敏で起業家精神に溢れ、その将来を自らの手で築きます



つながり

当社はつながりを持ち続け、カスタマーを常に第一に考えます



コミットメント

当社は他者や地球に対するその影響に責任を負います



コア・コンピテンシー

Oneチームとして行動する

価値を創造する為のイノベーション

結果を求める

カスタマージャーニーを OWN する

多様性、包摂性、持続可能性を推進する

当社の規範

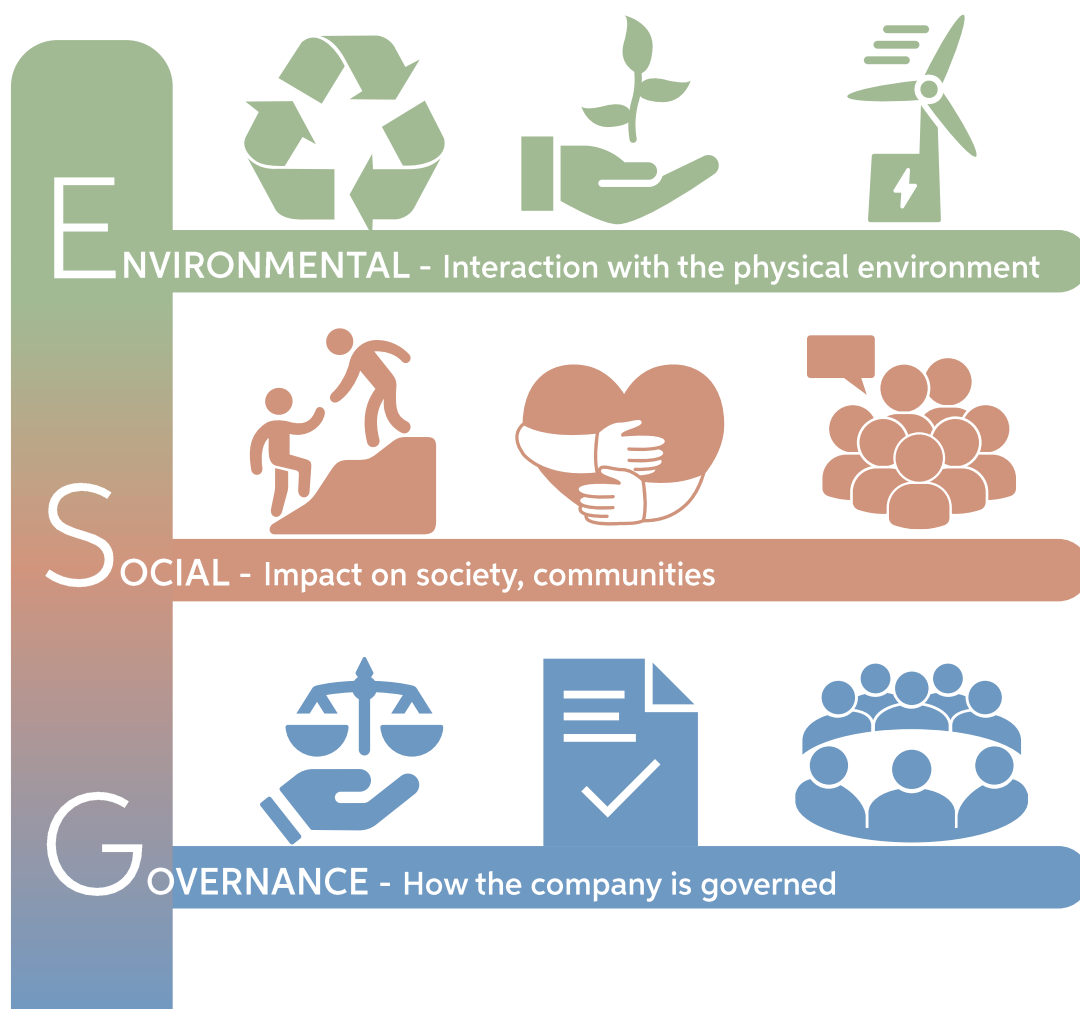
3. 環境・社会・ガバナンス(ESG)に対する当社の取り組み

当社の規範は、ESGに対する当社の取り組みの土台となっています。また、当社の社内ガバナンスの重要な部分を占めるほか、当社の価値観とともに、協力して倫理的に事業の運営方法に向き合い管理する手段でもあります。

当社は、人、組織、社会を形成し、影響を与え、繁栄させる上でビジネスが重要な役割を果たしていると考えています。また、世界が直面する社会・環境・ガバナンスの課題解決に貢献することを目指しています。人、地球、製品に対するコミットメントを当社の事業の中核に組み入れるには、サステナビリティとESGに対する取り組みが不可欠であるため、こうした取り組みを優先しています。

ESGは、人を第一に考える当社に溶け込んでいます。当社は、ウエラカンパニー内で、また長期的にはサプライヤーに対しても、より多様性、包摂性そして公平性を増すための目標やターゲットを掲げています。当社内でも、またサプライヤー、ビジネスパートナー、バリューチェーン全体にわたっても、最高水準の人権とビジネス倫理を維持することに努めています。

当社は、地球のステュワードとして行動することを目指しています。国連グローバル・コンパクトのメンバーとして、当社は国連の持続可能な開発目標を支持し、工場内そして、ビジネスパートナーと協力し、指針となる哲学としてこれらの目標を遵守しています。当社は廃棄物やパッケージを削減し、ビジネスと製品ライフサイクル全体にわたり、リデュース・リユース・リサイクルの原則を遵守することに努めています。



当社の規範

4. WECareを行う理由

当社の規範は、すべての点において、誠実に行動する方法の指針となります。問題に直面したときにどのように行動し、どのような対応をすればよいかを明確にし、当社の価値観とともに、日々の業務の中でどのように行動すべきかを定めています。

当社の事業に適用される法規制は、急速に拡大し、より複雑になっています。こうした法規制の下での働き方を、日々理解するのは必ずしも容易なことではありません。

当社の規範は、世界中に拠点を置くウエラカンパニーの勤務地にかかわらず、自身の業務に適用される法規制を遵守するために何をすることが必要であることを示しており、正しい選択をする際に有用です。

また、当社の規範を遵守することで、当社の評判を維持し、顧客、ビジネスパートナー、同僚、当社が事業を展開するコミュニティ、規制当局、ステークホルダーから信頼を得られることになります。合法的にかつ誠実に行動すれば、当社の問題を管理し成果を上げる方法に誇りを持てるでしょう。



5. 当社の規範と法

当社が事業を展開している多くの国には、さまざまな異なる法規制があります。国によっては、当社の規範よりも厳しい基準を定めた法律もあります。そのような状況では、より厳格な基準を規定する法律に従い、正しい行動をとることが期待されます。不明点があれば、コンプライアンス部に問い合わせてください。



6. 当社の規範と会社方針

当社の規範は、それと一致する他のウエラカンパニーの方針、手順、ガイダンスと連動しています。不明な場合は、常に本規範を優先して適用してください。

本規範は、起こりうる状況を網羅しているわけではありません。そのため、皆さん自身が適切な判断を下し、本規範と当社の価値観を遵守することが求められます。必要なガイダンスが見つからない場合は、コンプライアンスチームに連絡してください。

本規範は、ウエラカンパニーの行動規範およびビジネスパートナー向け行動規範のすべての旧版に取って代わるものです。本規範は、正確性を保つために定期的に見直されます。



当社の規範

7. 全員を対象とするWECare

当社の規範は、ウエラカンパニーおよびその関係会社のすべての従業員、役員、および取締役に応用されます。疑義を避けるために付言すると、これにはghdとBriggeoが含まれます。

当社に代わって業務を行う個人および企業も、当社の行動規範に従う必要があります。代理人、ビジネスパートナー、サプライヤー、ベンダー、メーカー、請負業者、販売業者、その他の第三者は、自らの行動によって、当社の評判に直接影響を与える可能性があります。

このため、当社は、当社と取引を行う個人および企業、ならびにその従業員に対し、当社の規範に沿った方法で行動することを期待し、奨励しています。

本規範に従って行動しない場合、ウエラカンパニーおよび関与した個人の両方に深刻な結果をもたらす可能性があります。

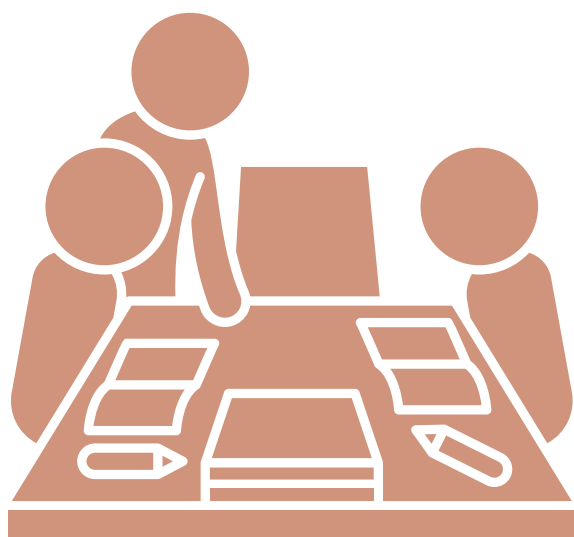
¹ ウエラカンパニーとは、Rainbow UK BidCo Ltdを意味します。関係会社とは、直接的または間接的にRainbow UK BidCo Ltdを支配しているか、同社に支配されているか、または同社と共通の支配下にある事業体を意味します。



8. 従業員の責任

ウエラカンパニーの全従業員は、以下の責任を負います。

- 当社の規範および会社方針と手順を読み、理解し、遵守する。
- 年に1回、規範を遵守することを保証する。
- 要請に応じて、コンプライアンス研修に参加する。
- 法または当社の規範の違反に気付いたときは、速やかに懸念を提起する。
- 調査または監査に対応する際に全面的に協力する。



当社の規範

9. マネージャーとチームリーダーの責任

マネージャーやチームリーダーにはさらに多くのことが期待されます。模範を示して指導し、組織全体で誠実性の文化を推進する責任を担います。これは、マネージャーが以下を行うことを意味します。

前向きなロールモデルになる。

模範を示して指導し、当社の価値観を示し、常に当社の規範に沿って行動するほか、敬意を払った包摂的な環境を維持するものとします。



当社の規範に対する意識を高める。

部下のチームメンバーが当社の規範、会社の規則、および適用法の要求事項を理解できるよう支援するものとします。また、チームメンバーが日常業務に適用される法規制を認識し、それについて適切な研修を受けるよう徹底するものとします。

声を上げる」文化を奨励する。

マネージャーは、従業員が報復を恐れることなく安心して声を上げることができる環境を作るものとします。提起された懸念を真摯に受け止めてください。本規範に違反した人がいれば、適切かつ一貫した行動を取るものとします。



当社の規範

10. 声を上げる

ウエラカンパニーでは、規範の実際の違反またはその疑いなど、違法または非倫理的な行動の疑いに気づいた場合、声を上げることが求められます。

懸念がある場合は、可能であれば上司に提起することが推奨されています。人事チームのメンバーに相談することもできます。

提起された懸念事項は、法により許容される範囲で、秘密に管理されます。



11. 報復の禁止

当社は、誠実にビジネス行動に関する懸念を提起し、または対処に協力した人に対する報復を禁止しています。

善意で行動する従業員や第三者に対して報復行為を行った者は、解雇を含む適切な懲戒処分の対象となる場合があります。

自分や知り合いが報復を受けていると感じたときは、直ちに声を上げて懸念を提起してください。

報復には、脅迫、解雇、排除、恥ずかしめの他、給与、賞与、年次審査、昇進、シフト割り当てへの悪影響、商品やサービスの契約の早期解除または解約など、さまざまな形態が考えられます。



12. 当社のホットライン

ホットライン

ラインマネージャーまたは人事部に懸念を提起できない理由があると思う場合、または提起した懸念が解決されていない場合は、直接または電子メールでコンプライアンスチーム (wella.compliance@wella.com) 宛に問い合わせるか、ウエラ倫理・コンプライアンスホットライン (wella.integrityline.com) に問い合わせることができます。

このホットラインは、すべての従業員、顧客、ビジネスパートナー、および懸念を提起しようとするその他の人が利用できます。

質問や懸念事項の報告は、ウェブフォームまたは電話を使い、ホットラインから行うことができます。ホットラインは24時間対応可能であり、ウエラが事業を展開するすべての国で現地の電話番号が利用できます。ホットラインは、ウエラが事業を展開する場所のすべての言語で、翻訳サービスを通じて利用できます。

(現地法で認められている場合は) 匿名で懸念を提起することができます。すべての懸念事項は、法により許容される範囲で、迅速かつ効率的に、秘密裡に調査されます。

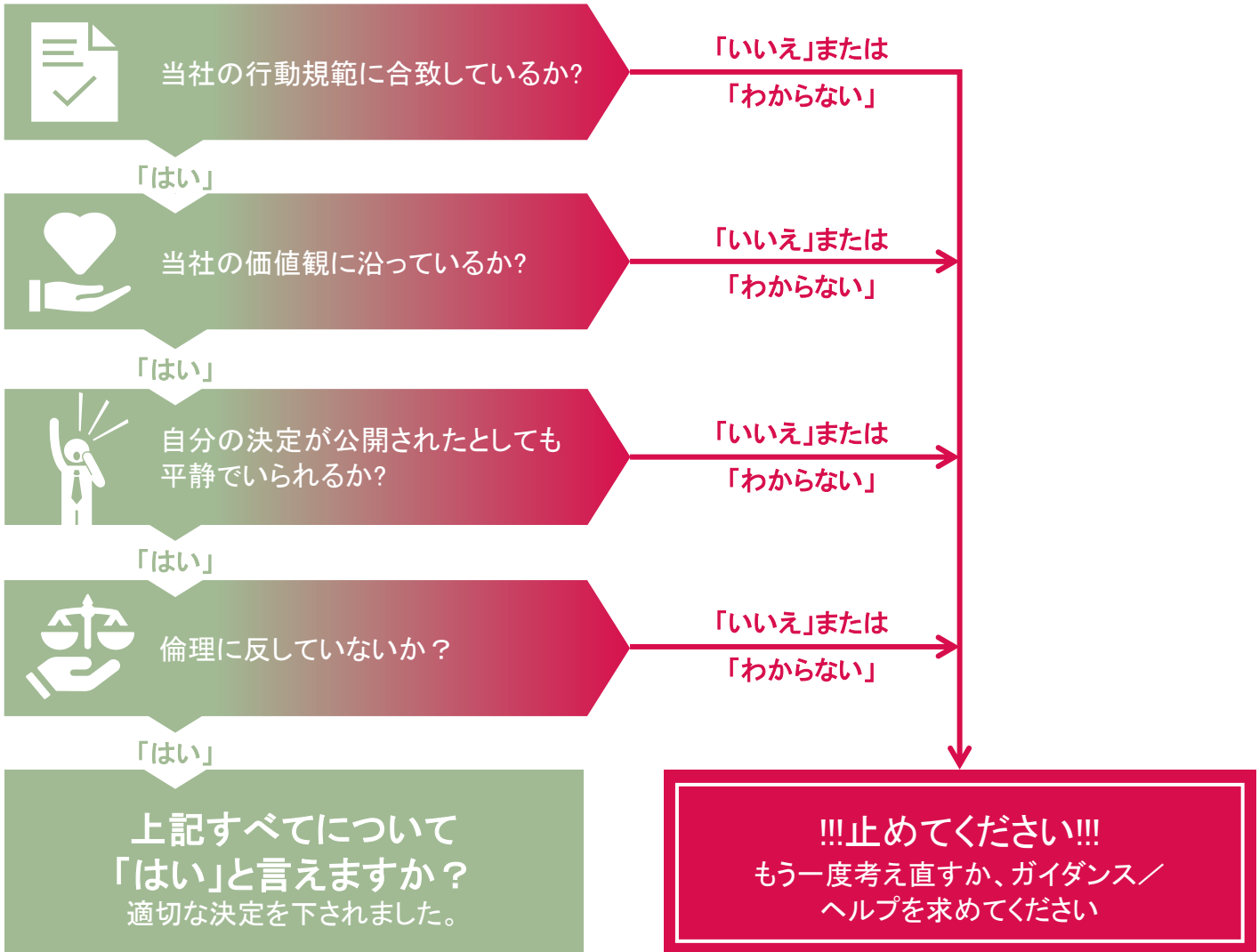
ウエラホットラインは、ウエラカンパニーに代わって、独立した第三者によって運営されています。

当社の規範

13. 適切な意思決定を行う

本規範は多くの事例を記載していますが、すべてを取り上げているわけではありません。倫理的な意思決定を行うために適切な判断を下し、質問や懸念があれば支援を求めることが期待されます。以下のディシジョンツリーが有用です。

適切な決定を下すための4つのステップ…自問自答してください



14. 支援はどこで得られるか



オンライン:
WECare.wella.com



電子メール:
wella.compliance@wella.com



電話:
ウエラ倫理コンプライアンスホットライン:
WeCare Hubから地域の電話番号を確認する
か、+1-720-514-4400にダイヤルして言語
を選択してください



直接相談する:
上司、またいつでもウエラカンパニーの最
高コンプライアンス責任者、コンプライア
ンスチームのメンバー、最高法務責任者に
いつでも連絡することができます。



当社 従業員

当社従業員は、当社の最大の強みであり、資産です。

当社は、従業員がベストを尽くし成果を上げられる職場環境を構築するよう努めています。当社が成功するかは、ウエラカンパニー全体がチームとして行動し、良好なパートナーシップと信頼関係を築いているかに左右されます。

業務環境は、安全、安心、かつ快適でなければなりません。互いに敬意をもって接する、多様で包摂的な職場環境を育むことを目指しています。

1. 安全衛生およびセキュリティ
2. 平等かつ公平な処遇
3. 従業員の代表者
4. 個人データおよびプライバシー

1. 安全衛生

安全に配慮した会社が優良な会社です。当社は、全従業員が健康的な生活と仕事のバランスを確立し、能力を最大限に発揮できる、健康的、安全、かつ生産的な職場環境の構築と維持に尽力しています。

職場に適用されるすべての安全衛生に関する法規制に従い、健康と安全の遂行について継続的に向上することを目指しています。

また、安全で安心できる職場環境とは、アルコールや薬物乱用のない職場です。職場でアルコール、違法薬物、処方薬の乱用の影響下にある者は、容認されません。

ウエラカンパニーは、職場での暴力を一切容認しない方針を定めています。また、従業員が脅威や危険を感じることなく働くことができる職場の維持に努めています。現地法に従い、当社のすべての敷地において武器を所持することは禁じられています。敷地内で武器を所持している人がいる可能性がある場合と懸念される場合は、直ちに人事部と上司に報告してください。

サプライヤー、顧客、代理人、請負業者など、当社の関係者は、安全衛生に関する当社の基準を尊重し、遵守することが期待されます。

声を上げるべき状況

安全でない行為、安全手順の回避、またはその他のセキュリティ上の懸念がある場合。直ちに上司、人事部、法務部、またはウエラホットラインに報告してください。



必須事項

- 安全で健康的な職場環境を維持する。
- 安全に関するすべての法規制、方針、手順を理解し、それに従う。
- 危険な行動、状態、機器、および事故（軽微な事故を含む）が発生した場合は、直ちに報告する。
- 当社関係者が、適用される安全衛生要件を遵守するよう徹底する。

禁止事項

- 安全よりも利益を優先する。
- 安全手順を省略する。
- 職場の安全規則や規制を無視する。
- 危険な状況で作業し、安全でない装置を使用する。
- 安全でないと思われる場合でも、作業を続ける。

2. 平等かつ公平な処遇

すべての人を公平に、敬意を払って、尊厳をもって接します。当社は、すべての従業員と求職者に平等な機会を提供することに尽力しています。

当社は、異なる視点や文化の価値が尊重され称賛される、多様で公平かつ包摂的な環境を構築します。革新的なビジネスを成功に導くためには、多様な労働力が不可欠であると考えています。

人種、肌の色、国籍、性別または性自認、障害、婚姻状況または家族状況、性的指向、年齢、政治的および哲学的見解、宗教的信条、労働組合活動、またはその他の禁止された差別的基準を理由とする一切の差別を容認しません。

この禁止事項は、採用時だけでなく、昇進、雇用の継続、労働条件、第三者との関係にも適用されます。

当社はセクシャルハラスメントを含む、いかなる形の虐待、いじめ、嫌がらせも容認せず、当社の取引先にもこのコミットメントを共有することを求めます。

声を上げるべき状況

誰かが嫌がらせや差別を受けている場合。

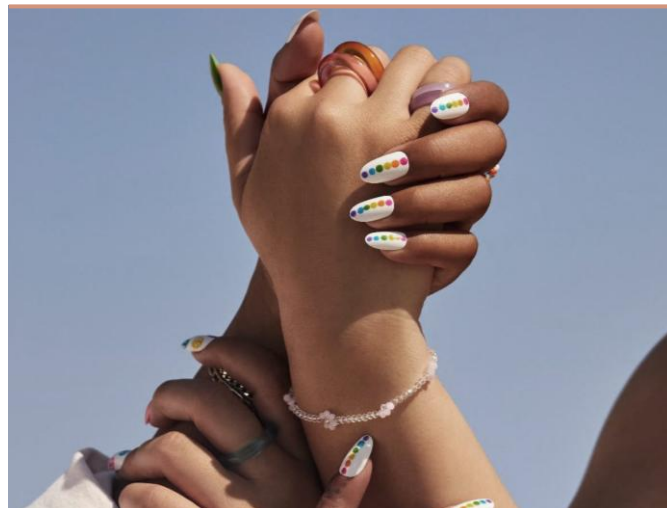


必須事項

- 包摂的な職場環境を支援し促進する。
- 正しくないと感じることがあれば、上司または人事部に相談する。
- 文化の違いを尊重する。
- 自分の言葉や行動が他者に与える影響を考慮する。

禁止事項

- 職場での嫌がらせ、虐待、無礼な態度を無視する。
- 周囲の人に対し差別、嫌がらせ、いじめをする。
- 攻撃的、威圧的、悪意ある、または侮辱的となりうる行動をとる。



3. 従業員の代表者

当社は、従業員の代表者、組合、労使協議会を通じて行動する従業員の権利をサポートし、すべての代表者との前向きな対話を促進します。

従業員の見解や意見を自由に述べる権利、および結社の自由や団体交渉の権利を尊重します。従業員は、職業上の利益を推進および保護するために、組織や組合に自由に参加することができます。当社では、従業員代表者と協力して、組織内のすべての人の意見を聞き、従業員の権利と利益が適切に保護されるよう徹底することを奨励しています。

声を上げるべき状況

組合に加入するまたは組合を設立する権利が尊重されていない場合。

組合に加入したこと、またはその他の形で従業員を代表したことを理由に差別されていると感じる場合。



必須事項

- 従業員の代表者、組合、労使協議会の権利と特権を尊重し、考慮する。
- 現地の規制に従い、またはそれに則って、従業員代表者に情報を伝え、相談し、または(該当する場合) 共同決定権を行使する。

禁止事項

- 従業員の代表者、組合または労使協議会の権利を無視する。
- 従業員の代表者に虚偽の情報を提供する。



4. 個人データおよびプライバシー

プライバシーと個人データの保護は、基本的権利です。当社は、従業員の個人情報、医療情報、家族情報、財務情報の秘密性を尊重し、保護します。

当社が収集し使用する個人データは、ウエラカンパニーの効果的な運営、または法令遵守のために必要なものに限り、個人データを適切に保護し、権限のある担当者のみがアクセスできるようにしています。正当な必要性があり、法的に許可されている場合を除き、社内外のいかなる者にも当該情報を開示しません。

当社は、第三者サービス提供者と個人データを共有する場合、当該第三者が、適用されるデータプライバシー法に従って個人データを保護する契約上の義務を負うよう徹底します。

声を上げるべき状況

誰かがデータプライバシー規則に違反している場合、またはデータ侵害が疑われる場合。



必須事項

- 当社が収集する情報の種類、その使用方法の計画、質問がある場合の連絡方法について、そのデータ主体に必ず知らせる。
- 最低限必要な量の個人データのみを収集・保存し、所定の目的にのみ使用する。
- 不正確または古い個人データを修正または削除する。
- 個人データを安全に保管し、厳格に「知る必要がある」場合にのみアクセスを制限する。

禁止事項

- 個人データを必要以上に長く保存する。
- 適切な許可なく、ウエラカンパニー以外の者に個人情報を提供する。
- 法により義務付けられていない限り、関係者の同意なしに「機密性の高い」情報を収集する。



当社の 顧客および ビジネスパートナー

当社は、顧客やビジネスパートナーと誠実に、敬意を払い、責任ある方法で取引を行っており、同人にも同様に当社に接することを期待しています。当社が事業を行い、ステークホルダーの期待に応えるために、サプライヤーやビジネスパートナーは不可欠です。だからこそ、倫理とコンプライアンスに対する当社のコミットメントを共有してくれる人たちと取引することを目指しています。

当社は、他者からの信頼に応えられる会社です。ウエラカンパニーの競争上の優位性は、良好な業績によるものです。当社が事業を展開するすべての国の法規制の範囲内で、また広く認められている国際基準に従って、誠実に業務を行うことに尽力しています。

ウエラカンパニーは、幅広い顧客を持ち、サプライヤー、コンサルタント、代理店、小売業者、流通業者、サロン、ドラッグストア、スタイリスト、インフルエンサーといったビジネスパートナーと取引しています。

1. 公正な競争
2. 個人データおよびプライバシー
3. 贈収賄および腐敗行為の防止
4. マネーロンダリングの防止
5. 贈答品および接待
6. 利益相反
7. 貿易管理および貿易制裁

1. 公正な競争

当社は、公正にかつ精力的に競争し、反競争的な活動には関与しません。

顧客、競合他社、ビジネスパートナーと公正かつ倫理的な方法で取引を行います。企業間の公正で開かれた競争を促進し、イノベーション、品質の向上、および競争力のある価格を促進することを目指しています。顧客と消費者が公正な競争から利益を得られることを望んでいます。

市場の共有、価格操作、生産の制限、または共謀入札（談合）につながる競合他社との合意またはコミュニケーションは法律で禁止されており、当社はこれらの活動に関与しません。当社は、独占禁止法に違反する場合、顧客が再販価格を設定する自由を制限することはありません。

競争法と独占禁止法は複雑で、事実固有のものが多く、勤務する地域や市場によって異なることがよくあります。このため、質問や不明点があれば、法務チームに相談してください。

声を上げるべき状況

ウエラカンパニーと競合他社との間で、価格、入札、または市場を対象とするような種類の契約が締結されている場合。



必須事項

- 不適切な合意形成と思われるような、競合他社との接触を避ける。
- 参加しようとしている事業者団体の会議では、事前に議題が用意されており、その議題には価格、入札、市場などの機密性の高いトピックが入っていないことを確認する。
- 競合他社に関する情報を公正な方法で入手する。
- 不明点があれば、法務チームに相談する。

禁止事項

- 入札、価格、市場の共有/分担について競合他社と合意する。
- 販売業者または顧客に当社製品の特定の価格をつけるよう強制する。
- 競合他社またはその他の第三者と商業上の機密情報を共有する。
- 業界団体の会合での価格、入札、市場に関する協議を認める。

2. 個人データおよびプライバシー

当社は、顧客やビジネスパートナーのプライバシーと秘密性を尊重し、保護します。

当社が収集し使用する個人データは、ウエラカンパニーの効果的な運営、または法令遵守のために必要なものに限り、当社は、顧客やビジネスパートナーのデータの取り扱いについて透明性を徹底しています。顧客やビジネスパートナーのプライバシーを保護し、彼らが許可した方法でデータを使用することにつき、彼らの信頼を得たいと考えています。個人データを適切に保護し、権限のある担当者のみがアクセスできるようにしています。

当社は、第三者サービス提供者と個人データを共有する場合、当該第三者が、適用されるデータプライバシー法に従って個人データを保護する契約上の義務を負うよう徹底します。

声を上げるべき状況

誰かがデータプライバシー規則に違反している場合、またはデータ侵害が疑われる場合。



必須事項

- 当社が収集する情報の種類、その使用方法の計画、質問がある場合の連絡方法について、そのデータ主体に必ず知らせる。
- 最低限必要な量の個人データのみを収集・保存し、所定の目的にのみ使用する。
- 不正確または古い個人データを修正または削除する。
- 個人データを安全に保管し、厳格に「知る必要がある」場合にのみアクセスを制限する。

禁止事項

- 個人データを必要以上に長く保存する。
- 適切な許可なく、ウエラカンパニー以外の者に個人情報を提供する。
- 法により義務付けられていない限り、関係者の同意なしに「機密性の高い」情報を収集する。



3. 贈収賄および腐敗行為の防止

当社は、当社の事業において、いかなる形の贈収賄や腐敗行為も容認しません。

贈収賄および腐敗行為防止に関する法規制を遵守し、ビジネスパートナーが確実に当社のコミットメントを共有するよう努めます。

また、贈答品や接待の授受については、政府や企業には厳しい規則や規制があり、違反すると贈収賄となる可能性があるため、特に注意を払っています。賄賂を贈る意図がなかったとしても、最終的に問題となるのは、他者から見てあなたの行動が不適切であるとみなされるかどうかです。

当社は、ビジネスパートナーと第三者が贈収賄や腐敗行為を排除するという当社のコミットメントを共有するよう努めています。ウエラカンパニーは国連グローバル・コンパクト、特に腐敗行為防止に関する第10の原則に署名しています。

声を上げるべき状況

政府職員への贈答品または接待。



必須事項

- 支払いが正しく説明されるように、また会社の資金が違法な目的に使用されないように、正確な帳簿と記録を保管する。
- 取引先のデューデリジェンス手順に従って、取引相手を把握する。

禁止事項

- 賄賂、キックバック、その他の種類の不適切な支払いを授受する。
- 第三者を利用して、法律またはウエラカンパニーの規則で禁止されている有価物の申し出、提供、約束を行う。

4. マネーロンダリングの防止

当社は、あらゆる形態のマネーロンダリングの防止と検出に取り組んでいます。

当社は、ウエラカンパニーの製品およびサービスがマネーロンダリングおよびテロ資金供与の目的で使用されないよう保護します。当社は常に、適切なデューデリジェンス手順に従い、ビジネスパートナー、顧客、合併/買収パートナー、その他の第三者が適切にスクリーニングされるよう徹底することで、提携を希望する事業の評価に努めます。

声を上げるべき状況

疑わしい事態や状況（レッドフラグともいう）。

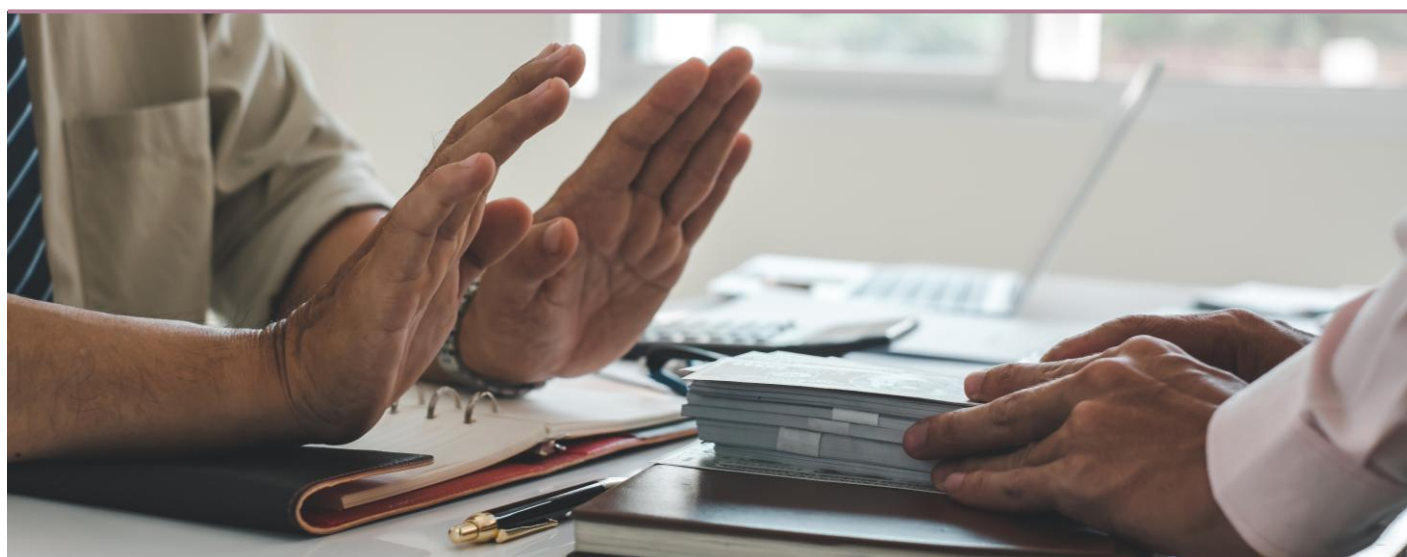


必須事項

- 当社の調達手順に従って、取引したい第三者を評価する。
- 疑いがある場合は、調達部またはコンプライアンス部門に相談する。

禁止事項

- 疑わしい事態や状況（レッドフラグともいう）を無視する。



5. 贈答品および接待

当社は、ビジネス、サービス、または当社の利益となる決定に影響を与える見返りとして、贈答品や接待を授受しません。

適切なレベルの贈答品や接待の授受であれば、健全な取引関係を構築する一環であるとみなされます。

同じ第三者との間で複数の贈答品または接待の授受を行う場合、授受の合計金額によって影響を及ぼしているとみなされかねないことに留意してください。また、ビジネス獲得または契約発注の対価に近い贈答品の授受にも留意してください。

贈答品や接待について上司に電子メール(こちらの開示フォームを使用)で開示しておくことで、後日必要になった場合に、開示したことを証明することができます。また、必要に応じて、コンプライアンスメールボックス(wella.compliance@wella.com)を通じてコンプライアンス部に開示することもできます。

ウエラカンパニーの贈答品および接待の要件と、適用される社外の贈答品および接待の要件との間に矛盾がある場合は、最も厳しい要件に従います。

一部の贈答品や接待(例えば、賄賂とみなされる可能性のあるもの、みだらなまたは不適切なものなど)は、違法である、または当社の評判を傷つける可能性があるため、決して容認されません。

この点に関して、常識的な判断を下すことが期待されます。

当社は、政府職員に直接的または間接的に贈答品や接待を提供することはありません。

全世界を対象とした上限(地域ごとの上限とポリシーがある場合はそちらを参照)

ウエラカンパニーが提供する場合

- 20ユーロ以下の価額 - 措置は不要です。
- 20ユーロを超える価額 - 上司に開示します。
- 200ユーロを超えることはできません。
- 受領者の規則を遵守する必要があります。
- 政府職員に贈ることはできません。

声を上げるべき状況

誰かが200ユーロを超える価額の贈答品を授受している場合。



必須事項

- 贈答品と接待に関するガイダンスに従う。
- 上司とオープンにかつ明確に話す。
- 不明点があれば、コンプライアンス部に相談する。

禁止事項

- 政府職員に贈答品を贈る。
- 贈答品や接待の活動を隠蔽したり、金額を実際より低く評価したりする。
- 贈った贈答品の見返りに何かを期待する。
- 贈答品や接待を求める。
- 贈答品または接待の費用全額を隠蔽または虚偽表示するために経費を分割する。

贈答品や接待を授受できるのは、以下の方法に限られます。必要に応じて、詳細なガイダンスを利用できます。規範ハブ(Code hub)を確認してください。

ウエラカンパニーが受領する場合

- 50ユーロ以下の価額 - 措置は不要です。
- 50ユーロを超える価額 - ラインマネージャーに開示します。
- 200ユーロを超えることはできません。
- サプライチェーンまたは調達職に就いている従業員は受領することはできません。
- 要求や懇願に応じてnはなりません。



For more resources visit our CODE HUB

6. 利益相反

ウエラカンパニーの評判を守るために、実際の利益相反と潜在的な利益相反を積極的に開示し、管理します。

当社または他者に不適切な利益をもたらす方法で、当社の立場、影響力、または会社の情報、資産、リソースを使用することは決してありません。利益相反は、自らの利益または活動が、ウエラカンパニーのために客観的な意思決定を行う能力に影響を与える場合に発生する可能性があります。

利益相反の大半は、積極的に開示および管理されれば、当社の業務には影響しません。利益相反に遭遇した場合、ウエラカンパニーの評判と従業員自身の評判を守るために、利益相反を特定し開示することが重要です。

利益相反が生じる可能性のある状況、または利益相反と思われるだけの状況であっても、上司に開示します。開示することで、より適切に管理する機会が得られます。

利益相反が生じる形態は多様であることに留意してください。不明点があれば、上司または人事部に相談してください。

声を上げるべき状況

同僚に利益相反があるが、開示も管理もしていない場合。



必須事項

- 利益相反および潜在的な利益相反を上司に開示する。
- 利益相反があるかどうか不明な場合は、上司に確認する。

禁止事項

- 利益相反を隠す - これは、あなたとウエラカンパニーの評判に影響を与え、あなたが懲戒処分の対象となる可能性があります。
- 会社の機器、時間、リソース、情報を別の仕事やビジネスに利用する。



For more resources visit our [CODE HUB](#)

7. 貿易管理および貿易制裁

当社は、経済制裁、輸出入管理法を含め、当社が事業を行うすべての国の貿易法を尊重し、遵守します。

金融制裁を含む貿易制裁は、さまざまな目的を達成するために実施できる複雑な制限措置です。これらの目的には、国際的な義務の遵守、外交政策および国家安全保障目標の支援、国際平和と安全の維持、テロの防止が含まれます。制裁対象の国、事業体、および/または個人との取引など、取引に関与している場合は、適用される貿易法を確実に遵守する必要があります。

輸出管理は、国単位で、通常は国家安全保障と外交政策を考慮して実施されます。例えば拷問の道具や、武器銃弾などの軍民両用物品は、通常どの国向けにも輸出が規制されていますが、一部の輸出品、暗号品目などは、テロリスト組織や世界的に輸出禁止措置を受けている国のみが規制対象となる場合もあります。

輸入規制は、有害な化学物質や子供に窒息の危険をもたらす部品を含む玩具の輸入制限など、市民や国家経済の安全を保護するように定められています。国内生産が国の経済に不可欠な場合、外国商品の市場侵入を防ぐために経済輸入規制がしばしば使用されます。

当社は、適切なデューデリジェンス手順に従い、ビジネスパートナー、顧客、合併/買収パートナー、その他の第三者が、グローバル制裁、制限された法域、貿易管理リストなどの懸念についてスクリーニングを受けるようにすることで、常に取引相手を知る必要があります。

機器、ソフトウェア、技術を含むウエラカンパニー製品を輸入または輸出する必要がある場合は、事前に分類し、必要なラベリング、文書化、許可、および承認をすべて完了させる必要があります。

声を上げるべき状況

制裁対象者、制裁対象の個人または輸出規制対象品に関する契約。

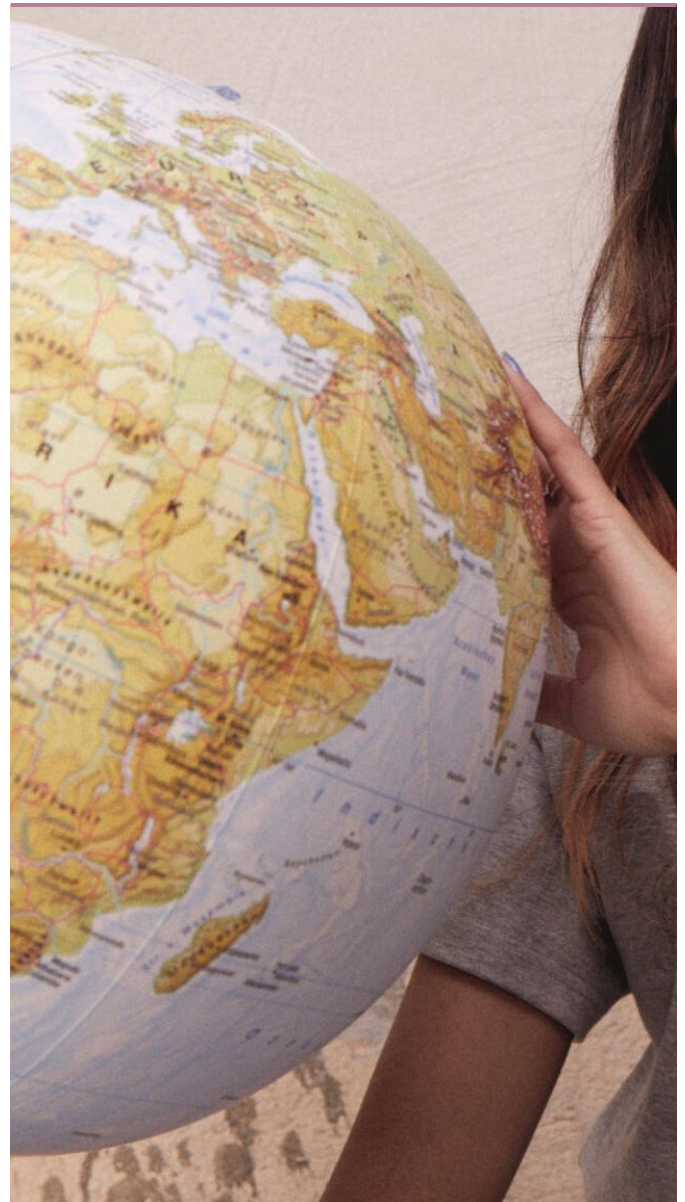


必須事項

- ビジネスにおいて接触する可能性のある制裁対象国、当事者、または個人について必ず把握しておく。
- 製品が輸送・税関チームによって輸出入法に基づいて分類されるよう徹底する。
- 制裁について不明点があれば、法務チームから助言を得てください。

禁止事項

- 制裁対象地域内でまたは制裁対象者と直接的または間接的に取引を行う。
- 第三者を使用して、適用される制裁および貿易制限を回避するよう努める。
- 疑わしい事態や状況(レッドフラグともいう)を無視する。





当社 に関わる消費者 および当社製品

当社に関わる消費者と顧客は、当社が存在する理由であり、当社ビジネスの生命線です。当社は、自分らしく見える、感じられる、真に自分らしくあるための革新的なヘアスタイルとネイル製品を生み出したいと考えています。

消費者のニーズに迅速に対応し、喜んでいただくための新しい方法を常に模索しています。

1. 消費者の安全と福利
2. 個人データおよびプライバシー
3. 広告およびパッケージ
4. 責任あるイノベーション

1. 消費者の安全と福利

当社は、その利用者に安全な最高品質の製品とサービスを提供することに尽力しています。

製品とサービスについて、地球とその資源を尊重し、配慮して開発するよう努めます。このコミットメントは、製品の構想から流通、さらには製品の市販後にも及びます。当社は、製品の品質と安全性を確保するために、ウエラカンパニーが事業を展開する市場における国内外のすべての規制要件を遵守するよう努めています。

危険な製品、消費者に害を及ぼす可能性のある製品、またはウエラカンパニーに期待される品質基準を満たさない製品を、そうと知りながら販売したり、消費者に提供したりすることはありません。

当社の製品やサービスに関する消費者の懸念、苦情、フィードバックを真摯に受け止め、こうした意見を製品とその安全性を常に強化するために活用するよう努めています。

声を上げるべき状況

当社製品に関連する潜在的な健康または安全上の懸念に関する消費者のクレームが適切または適時に対応されていない。



必須事項

- 製品開発、製造、流通プロセスの各段階で、最高水準の衛生管理と品質管理を適用する。
- 消費者がウエラカンパニーと関わる都度、可能な限り最高のサービスを確実に受けられるようにする。

禁止事項

- 製品の安全性、ばらつき、または品質管理の問題に関する潜在的な懸念を無視する。
- 製品の安全性に関する議論やフィードバックを制限する。



2. 個人データおよびプライバシー

当社は、消費者のプライバシーと秘密保持を尊重し、これらを保護します。

当社が収集し使用する個人データは、ウエラカンパニーの効果的な運営、または法令遵守のために必要なものに限りです。消費者のデータの取扱方法について透明性を確保しています。顧客やビジネスパートナーのプライバシーを保護し、彼らが許可した方法でデータを使用することにつき、彼らの信頼を得たいと考えています。個人データを適切に保護し、権限のある担当者のみがアクセスできるようにしています。

当社は、第三者サービス提供者と個人データを共有する場合、当該第三者が、適用されるデータプライバシー法に従って個人データを保護する契約上の義務を負うよう徹底します。

声を上げるべき状況

誰かがデータプライバシー規則に違反している場合、またはデータ侵害が疑われる場合。

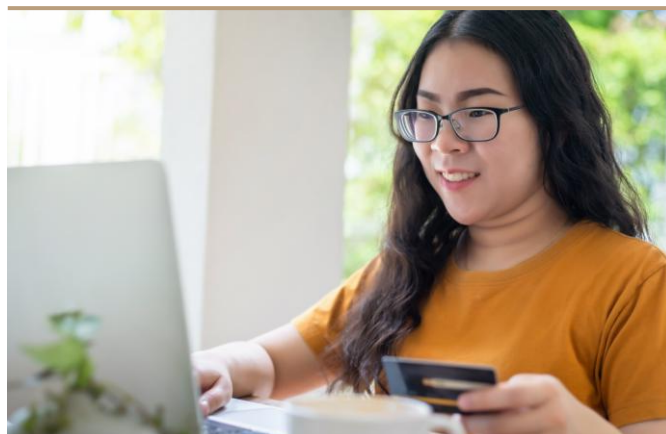


必須事項

- 当社が収集する情報の種類、その使用方法の計画、質問がある場合の連絡方法について、そのデータ主体に必ず知らせる。
- 最低限必要な量の個人データのみを収集・保存し、所定の目的にのみ使用する。
- 不正確または古い個人データを修正または削除する。
- 個人データを安全に保管し、厳格に「知る必要がある」場合にのみアクセスを制限する。

禁止事項

- 個人データを必要以上に長く保存する。
- 適切な許可なく、ウエラカンパニー以外の者に個人情報を提供する。
- 法により義務付けられていない限り、関係者の同意なしに「機密性の高い」情報を収集する。



3. 広告およびパッケージ

当社は、責任ある方法で、また当社が事業を展開する市場の法規制を遵守して、製品およびサービスのマーケティングおよび販売を行います。

当社は、製品およびサービスの販売促進方法に責任を負うよう努めています。私たちは消費者の多様性を感知し、誠意のあるコミュニケーションを取り、単一または非現実的な美の基準を決して宣伝しません。

当社は、すべての広告、パッケージ、販促資料が事実に基づくものであり、誤解を招くものではなく、透明性を確保したものであることを徹底します。消費者が購入、使用、および追加支援を求めることができる場所について、情報に基づいた選択を行うことができるように、当社の製品、その成分または構成部品に関する十分な情報、およびそれらの操作または用途に関する適切なガイダンスを記載します。

声を上げるべき状況

真実ではない、または消費者を搾取する可能性があるマーケティングまたはその他の資料。



必須事項

- ウエラカンパニーのグローバル宣伝表現承認プロセス (GCAP) とそのすべての規則に従う。
- 当社の製品、その効果と利点を正直に説明する。
- 特に製品やその状態に関して、明確で理解しやすいように販売・マーケティング資料をデザインする。

禁止事項

- メディアや慣行物に、不快感を催させるような方法で広告する。
- 広告のターゲットを子供にする。
- 受け取ることに同意していない個人にダイレクトマーケティング資料を送付する。



4. 責任あるイノベーション

当社は、当社が事業を展開する環境やコミュニティ、市場に悪影響を及ぼさない方法でのイノベーションを目指しています。

当社は、人々が自分らしく見え、感じられ、真に自分らしくあることを実現する助けになる、新規製品と既存製品のイノベーションを目指しています。また私たちは、新規および既存の製品やサービスを開発する責任を負います。当社は、当社の製品およびサービスの構成部分が倫理的な提供元から調達され、公正かつ尊厳をもって扱われる人々によって責任あるプロセスと方法を使用して作成および生産されるよう徹底します。

当社の製品が耐用年数に達した場合、可能であればリサイクルまたは再利用し、そうでない場合は安全かつ適切に廃棄するよう徹底します。

当社は、現地の法規制で明示的に義務付けられていない限り、製品の動物実験を行いません。また、美容業界全体で動物実験の廃止に尽力しています。

声を上げるべき状況

ウエラカンパニー内で、環境、顧客、および当社が事業を展開するコミュニティや市場に害を及ぼす可能性のある原産地や背景を持つ材料や要素を使用して作成された製品またはサービス。



必須事項

- 新しい製品やサービスを開発するときは、倫理、社会的、規制上の要件を遵守する。
- 当社製品の原材料および構成成分、その真正性および倫理的起源に関する適切な仕様を確保する。
- 新製品開発に関連するすべての研究と実験について、適切な記録を維持する。

禁止事項

- 動物実験を実施する（ただし、政府または規制当局による具体的要請がある場合はこの限りではない）。
- 当社が事業を展開する市場やコミュニティに悪影響を与える製品またはサービスの開発を開始する、またはそうと知らずに導入する。



当社の コミュニティ

当社が事業を展開するコミュニティを尊重し、支援し、社会と環境にプラスの貢献をするよう徹底します。

当社は人権を尊重し、顧客やビジネスパートナーがこのコミットメントを共有することを期待しています。環境への影響に配慮し、当社活動による悪影響を最小限に抑えるよう最善を尽くします。

当社は、政府や政治家と責任ある形で協力することに尽力しています。適切な慈善活動を奨励します。

1. 人権および現代の奴隷制
2. 環境保護
3. 慈善寄付
4. 政治献金および政治活動

1. 人権および現代の奴隷制

当社は、人権と倫理的な労働基準の尊重、維持、および推進に尽力しています。人身売買、奴隷、強制労働、児童労働を容認しません。

ウエラカンパニーまたは関連パートナーおよび事業に属する者による、いかなる人または集団に対するいかなる形態の差別も容認しません。

当社は、労働における基本原則と権利に関する国際労働機関（ILO）の宣言を支持します。強制労働、拘束労働、人身売買、児童労働を使用する者を一切利用せず、また、そのような者と取引することはありません。当社は、労働者の権利を侵害する活動に関与しないことを徹底し、取引先による権利侵害が判明した場合、適切な措置を講じます。

ウエラカンパニーは国連グローバル・コンパクト、特に人権に関する原則1および2に参加し、これを支持しています。これらの規定では、企業は、国際的に宣言された人権の保護を支援し、尊重し、人権侵害に加担しないようにする必要があると定めています。

声を上げるべき状況

ウエラカンパニーの潜在的または現在の顧客またはビジネスパートナーが、奴隷制、強制労働、児童労働を利用している。



必須事項

- 人権に関する法令を遵守する。
- すべての人に平等に、尊厳と敬意をもって、差別なく接する。

禁止事項

- ウエラカンパニー内または当社と取引のある者による労働権の侵害を無視する。
- 人権を侵害する第三者と取引する。

2. 環境保護

当社は、持続可能性と環境への配慮を当社のミッションの中核として優先してきました。当社の業績を測定するにあたり、当社が生み出す利益だけでなく、環境や社会への影響を基準とすることが正しいと考えています。

当社は、最低限、適用される環境法令を遵守し、その要件を上回るよう努めます。当社の製品を使用すること、当社が日々実践している実例を通して、ヘアやネイルの専門家と消費者がより持続可能な行動をできるよう支援することを目指しています。

環境に対する責任の管理に積極的に取り組んでいます。当社は、業務運営、製品、サービスによる環境への悪影響を防止、最小化、是正するために体系的に取り組む、水とエネルギー効率を改善し、当社の活動から生じる二酸化炭素の排出量と廃棄物を削減するプログラムを実施します。

パートナーにも、ウエラカンパニーや他の顧客との取引において同じ方法で事業を行うことが望まれます。

声を上げるべき状況

ウエラカンパニー内、または当社のパートナーやサプライヤーによる、環境被害の重大なリスクを伴う活動。



必須事項

- 当社のすべての業務における行動と活動が環境にどのような影響を与えるか検討し、可能な限りこれらの影響を減らすことを目指す。
- 新しいプロジェクトや製品を検討する際には、財務やマーケティングの視点だけでなく、環境への影響も常に配慮する。
- 日々の業務や製造において、再生可能または持続可能な材料やサービスを使用することを優先する。

禁止事項

- 実施方法を規定する環境法や規制があるかどうかを最初に理解することなく、新しいプロジェクトに着手する。



3. 慈善寄付

当社は、当社が事業を展開する地域社会や環境に前向きな変化をもたらしたいと考えています。

慈善活動に従事し、またはコミュニティの市民、健康、福祉の成果のために奮闘する、慈善団体およびその他の非営利組織を支援することを目指しています。ウエラカンパニーの価値観と環境・社会・ガバナンス(ESG)の目標に合致する目標を持つ組織に対して、慈善献金や寄付を行うことを目指しています。

声を上げるべき状況

価値観が当社と直接相反する組織に対してウエラカンパニーの名前で寄付が行われる場合。



必須事項

- ウエラカンパニーが行う寄付が合法かつ倫理的であることを確認する。
- ウエラカンパニーが行った寄付は、慈善事業および承認された指定の目的を支援するためにのみ使用されることを確認する。
- 不明点があれば、コンプライアンス部に相談する。

禁止事項

- 当社の価値観を反映していない組織にウエラカンパニーを関与させる。
- 社員またはビジネスパートナーに、ウエラカンパニーが支援するプロジェクトに寄付または献金することを義務付ける。

4. 政治献金および政治活動

当社は、政党、または政治に関与する組織、委員会、個人を支援しません。

政府、政治家、公務員、国際機関との取引は、透明性と責任を持って行います。

公的な意思決定プロセスに参加する場合、または当社の事業に影響を及ぼす事項に関する法的問題に関与する場合、当社は、公正かつ透明性があり、責任ある方法で、適切な法規制を遵守してこれを行います。

従業員は、政党、候補者、または選挙運動を支援するために、自らの時間と資金を自発的に寄与することができます。ただし、このような支援は個人的なものであり、ウエラカンパニーとは関係がないことを明確にする必要があります。

声を上げるべき状況

誰かがウエラカンパニーを代表して政治献金を行っている場合。



必須事項

- 個人的な政治活動は、ウエラカンパニーでの業務とは分けて行う。

禁止事項

- コミュニケーション部門の適切な許可なしに、政治家や規制当局と関わる。
- 政党や候補者を支援するために会社の資金やリソースを使用する。



For more resources visit our [CODE HUB](#)



当社の 株主

当社は、当社のシステム、資産、および情報について、責任を持って管理し、当社の記録が明確、正確、かつ完全であることを徹底することにより、当社の評判と株主価値を保護することに尽力しています。

当社は、法律、規制、および国際的に認められた優れたコーポレートガバナンスの基準に従って事業を遂行します。

当社は、当社の評判とブランドの価値を強化し、保護するために、外部ステークホルダーと明確かつ透明性のあるコミュニケーションを行うことで、常に信頼を維持し、構築し続けます。

1. データおよび記録の正確性
2. サイバーセキュリティ
3. 会社資産
4. 外部とのコミュニケーション
5. インサイダー取引

1. データおよび記録の正確性

当社は、株主、顧客、消費者との信頼と信用の維持に努めるにあたり、その活動、財務状況、業績に関して適時かつ定期的に、信頼できる情報を提供します。

当社が事業を展開する法域において財務情報の報告に関するすべての法的、会計および会社の要件に従います。会計期間ごとに、公正、完全、正確、適時、かつ理解可能な方法で、事業取引を帳簿および記録に適切に反映します。

同僚、株主、その他のステークホルダーに対して、業務、業績、予測について正直に報告します。

声を上げるべき状況

ビジネスまたは財務情報の不実表示。



必須事項

- 会計および財務報告に関する適用法、基準、規制に従う。
- すべての取引を正確、完全、かつ迅速に承認、記録および報告する。
- 当社の取引が合法的であり、有効な文書に基づいていることを徹底する。
- 社内外の監査人に全面的に協力する。
- 権限の委任に関する方針に従い、権限のある者のみが契約を締結し、取引を承認できるよう徹底する。

禁止事項

- 会計記録または文書を改ざんしたり、他者にそのように依頼したりする。
- 独立した会計士または監査人に虚偽、誤解を招く、または不完全な発言をするか、それらに影響を与えようとする。
- 適切な許可および文書なしに、当社の製品または資産を販売または譲渡する。
- 他の支払方法が使用可能な場合に、現金を使用し、または受領する。

2. サイバーセキュリティ

当社はサイバーセキュリティのリスクを警戒しており、ITシステムを保護します。ウエラカンパニーのシステムを使用する際は注意が必要です。なぜなら、当社の事業は効果的で完全に機能する情報とシステムに大きく依拠していますが、それらは社外から常に攻撃を受けているからです。

以下の行為を行ってはなりません。

- 個人のソフトウェアを業務用コンピュータにダウンロードする。
- ウエラカンパニーのシステムと電話のログインの詳細を共有する。
- コンピュータ機器や携帯電話をロックせず、無人の状態で放置する。
- 公共の場で会社の秘密情報にアクセスする。

Wella IT Securityは、電子メールやインターネットトラフィック、特に明示的な言葉や写真を含む文書の出入りをチェック、監視、ブロックします。

不適切な資料にアクセスし、会社の電子メール、その他のシステムを悪用してはなりません。これは禁じられており、違反は懲戒処分の対象として管理され、犯罪行為となる場合もあります。

声を上げるべき状況

不明なリンクに案内する、不明なソースからの不審な電子メール。



必須事項

- 会社のパスワードを保護し、指示に従って変更する。
- 特にウエラカンパニーのオフィス外でノートパソコンを使用する際は、ノートパソコンを保護する。
- Microsoft Outlookの「Report Phishing」ボタンを使って疑わしい電子メールを報告する。
- 外付けドライブやUSBドライブの使用を避ける。

禁止事項

- 会社のパスワードを共有する。
- 疑わしいメールのリンクをフォローするか、添付ファイルを開く。
- ITセキュリティによる確認、チェック、承認を受けることなく、デバイスにソフトウェアをインストールする。



3. 会社資産

ウエラカンパニーの資産は、当社の成長と成功の基盤となります。当社は、資産、情報、知的財産を保護し、そうすることで当社自身と株主の両方を守るようになります。

従業員は、ウエラカンパニーの資産、金銭、情報を、まるで自身の資産であるかのように扱います。これらの資産や情報を、個人的な利益や収益のために、またはウエラカンパニーの目標や価値観に反して使用してはなりません。ウエラカンパニーに代わって購入を行う場合は、常により良い支出のガイドラインに従います。

当社はいかなる不正行為も容認しません。ウエラカンパニーの資産を保護するために、不正行為を防止し、適切な場合はそれを検出するよう努めます。ウエラカンパニーに対する不正行為を目撃した場合、またはその疑いがある場合は、全員が声を上げなければなりません。必要に応じて、不正行為は、適切な政府当局に報告されます。

当社は、競争力を維持するためにウエラカンパニーの知的財産を保護し、維持します。常に当社の知的財産を保護し、他者による悪用を防ぎます。当社は、他者の知的財産を尊重しており、いかなる従業員にも、競合他社または第三者の知的財産の不正使用、盗取、不正流用を禁じています。

当社は、秘密情報の管理および保護を、情報分類ガイドラインおよび方針に従って行います。ウエラカンパニーまたはその従業員が、権限のない第三者または真のビジネスニーズのない者に秘密情報を開示しないよう注意します。

必須事項

- 会社の資産と金銭を適切な方針に従って使用する。
- 当社製品が偽造された疑いがある場合は、法務チームに報告する。
- 私的目的で会社のITシステムまたはデバイスを使用する場合は、それが適切であり、適用される法律に準拠しているかどうかを確認する。

禁止事項

- 会社の資産、情報、または地位を個人的な収益または不適切な目的で使用するか、または許可なく会社の敷地から持ち出す。

声を上げるべき状況

データ記憶装置や秘密文書が、安全でない場所に無人の状態では置かれている場合。

同僚がウエラカンパニー外の人や組織に情報を提供している、また機密情報や話題について話し合っている場合。



For more resources visit our CODE HUB

4. 外部とのコミュニケーション

当社は、顧客、パートナー、サプライヤー、投資家、および一般の人々と、慎重、明確、かつ正直にコミュニケーションを取ります。

ウエラカンパニーを代表して発言できるのは、許可されている場合にに限られます。個人の責任の範囲内でない限り、ウエラカンパニーを代表して発言したり、会社の戦略、業績、イノベーションパイプライン、またはその他の機密、専有、または機密のトピックに関するコメントや情報をメディア、ブロガー、その他の外部者に提供したりしてはなりません。

ソーシャルメディアを使用する際は、礼儀正しく、プロフェッショナルとして、敬意を払います。ソーシャルメディアの使い方は、他の人からウエラカンパニーとその価値観がどのように見られているかに影響を与える可能性があります。ソーシャルメディアガイドラインに従います。

当社は、政府機関やその他の規制機関の職務遂行、照会、調査において協力し、その際に適用法を完全に遵守します。その一環として当社が提供する情報または開示は、真正かつ完全なものであるものとします。

声を上げるべき状況

同僚がソーシャルメディア上で、特にウエラカンパニーを代表しているか、代表して発言しているように思われる場合に、当社の価値観と矛盾するような行動を取っている場合。



必須事項

- メディアや外部関係者からコメントの要請を受けた場合は、現地のコミュニケーションチーム、または必要な場合はグローバルコミュニケーションリーダーに付託する。
- マーケティング関連の問い合わせについては、現地のマーケティングチームに問い合わせる。
- 従来のチャネルまたはソーシャルメディアチャネルで否定的または疑わしいコミュニケーションを見つけた場合は、上司または現地のコミュニケーションリーダーに連絡して、その旨を報告する。
- 政府機関または規制当局に情報を提供するように求められた場合は、自らの役割の範囲内でない限り、上司または薬事規制チームに通知する。
- 調査または訴訟に関連して政府機関、規制当局、またはその他の第三者から連絡を受けた場合は、法務チームのガイダンスを求める。

禁止事項

- 特に自分の役割の範囲内でない限り、ウエラカンパニーの代表者として第三者に向けて話している印象を与える。
- 機密、専有、または機密性の高いトピックや非公開情報について、ウエラカンパニー以外の人や組織に対して発言する。

5. インサイダー取引

当社は、有価証券の取引を行うか、または他者に有価証券の取引を奨励するために内部情報を使用することはありません。現在および将来の所有者、顧客、パートナー、サプライヤーを含め、いかなる会社の証券の取引にも、内部情報を使用してはなりません。会社に関する未公開の価格機密情報にアクセスできる場合でも、当社自身または他者の利益のためにこれを使用してはなりません。

自らの利益のためにインサイダー情報を使用する、または権限のない第三者に情報を提供した場合、多くの国で刑事犯罪となり、ウエラカンパニーが罰金を科され、関与した個人に罰金と懲役刑が科される可能性があります。

声を上げるべき状況

同僚が非公開の情報を使用して有価証券の売買を行う、または行うよう奨励している場合。



必須事項

- 不明点があれば、法務チームに相談する。

禁止事項

- 有価証券の売買に内部情報を使用する。
- 内部情報を使用している間、例えば家族やその他の人を通じて、または「ヒント」を提供することによって、間接的に取引を行う。
- 上場証券の価格を操作するために情報を広める。





O·P·I



Briogeo



SEBASTIAN
PROFESSIONAL

CLAIROL



Kadus
PROFESSIONAL

Londa
PROFESSIONAL

WECare

ウェラカンパニー行動規範